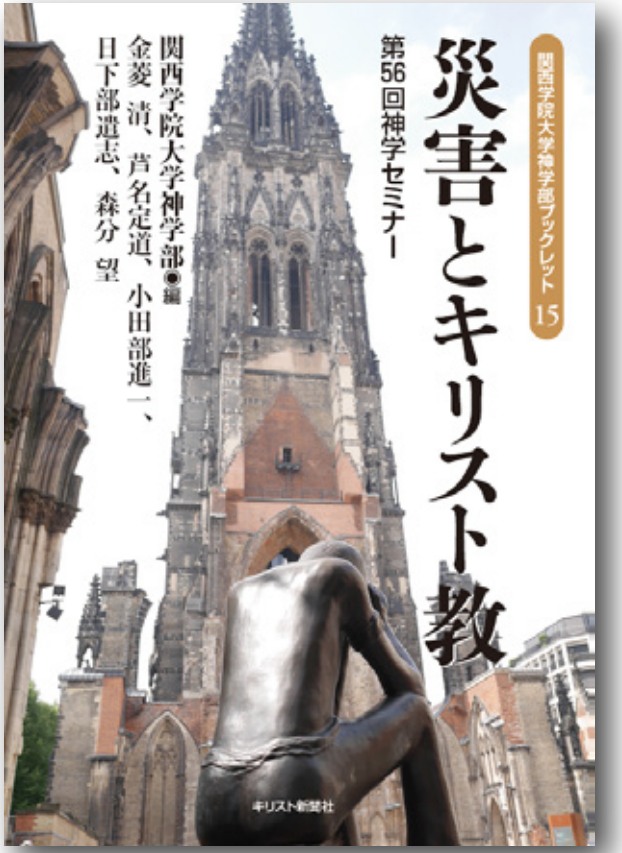
関西学院大学神学部ブックレット 15

災害とキリスト教

第 56 回神学セミナー



関西学院大学神学部◎編

金菱 清（かねびし きよし）（同大学社会学部教授）、**芦名定道**（あしな さだみち）（同大学神学部教授）、**小田部進一**（こたべ しんいち）（同大学神学部教授）、**日下部遺志**（くさかべ けんじ）（日本基督教団川内教会牧師）、**森分 望**（もりわけ のぞみ）（日本基督教団三津教会牧師）

地震、津波、台風、大水害などさざまな災害が繰り返し派生する災害大国・日本。そこに存在するキリスト教会は、災害をどのように記憶し、また災害に備え、その土地の人々とどのように手を取り、地域に仕えることができるのだろうか。同大教授陣のほか、現場で災害支援活動や子ども食堂などを通して、地域で奮闘してきた牧師たちの講演を収録。

目　次

主題講演「呼び覚まされる霊性の震災学-3.11　生と死のはざまで」（金菱　清）
神学講演「現代世界における災害の形-環境危機に直面して」（芦名定道）
神学講演「戦災の記憶と想起-ドイツの教会の事例から考える」（小田部進一）
現場報告「災害支援を通して」（日下部遺志）
現場報告「分かち合う共同体を目指して-教会こども食堂・フードバンクの働き」（森分　望）

A5判・並製・110頁、定価1,650円（本体1,500円+税）　ISBN978-4-87395-817-0　C0016（日キ販）